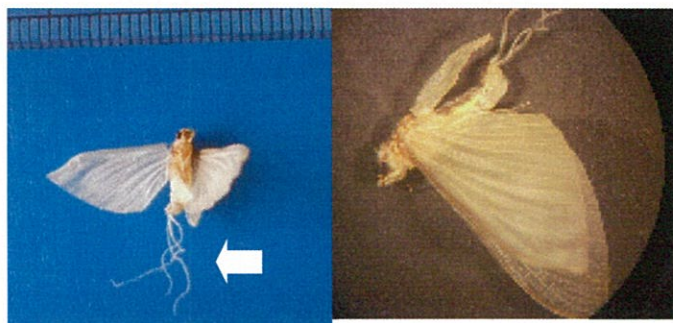


カゲロウ類

カゲロウ成虫									羽化時期			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
							←→					

2007年から昨年(2009年)の9月上旬から中旬にかけて、甲府市内の荒川にかかる千秋橋や千松橋周辺で、カゲロウ類の大量発生が確認されています。

陽が沈んでからの時間帯に羽化し、灯火等を集まる習性があることから、河川上の道路において、交通渋滞等の原因となり、大変危険ですので、生態等を含め、過去の発生時期について紹介します。



カゲロウ類の一種(成虫)
(写真左:腹面、右:横面)

開帳時 : 約 35mm

← 3本の尾をもつ

生態

北海道から九州に分布しています。幼虫は河川に生息し、石などに巣をつくり、生活をしています。羽化する時期は8月から9月にかけて大量の成虫が発生します。この現象は交尾のためで、雄成虫と雌成虫が乱舞(らんぶ)し、河川に卵を落とします。成虫は餌をとりません。

カゲロウ類発生時期(甲府市内のみ*)

年	2007	2008		2009
場所	長松寺橋	千松橋	陣場橋	千秋橋
月日	9月9日	9月7日	9月12日	9月7日
時間	19時頃	20時頃	19時頃	20時頃

* 甲府市以外では韮崎市内の河川上の道路にて目撃されています。



被害

夜半にかけて成虫が大量に発生し、橋にかかる道路上では雪が舞うような状況となり視界がさまたげられ、周辺住民、運転手や歩行者等に不快感を与えることとなります。また、成虫が車等にひかれることで路面が非常に滑りやすい状態となります。

予防対策

カゲロウ類の大量発生を体験された住民の皆様は、過去の発生時期頃に同様の現象が発生する可能性がありますから、河川付近の道路や橋を通行する時はご注意ください。なお、幼虫駆除をすることは広範囲に生息していることから大変に困難です。

その他

カゲロウ類幼虫は河川の水質がきれいな状態であるかどうかを調べる指標(しひょう)となる水生生物に含まれています。

きれいな水に住む生きものは、カゲロウ類幼虫の他には、サワガニ、カワニナ、トビケラ類幼虫やトンボの幼虫などがあります。

よごれた水の場合は、ヒラタドロムシ幼虫やセスジユスリカ幼虫、イトミミズなどが生息しています。

更に詳しい情報を知りたい場合は、以下の図書を参考にしてください。

1. 原色昆虫大図鑑Ⅲ 北隆社
2. 川の中の生きものを調べてみよう 環境庁水質保全局